

平成 20 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会の開催にあたり、11 月 20 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

総務課関係

県から協議のあった事務権限移譲は、平成 20 年 4 月 1 日から新たに 30 事務の受け入れに同意しました。

シンプルでより質の高い市民サービスを提供していくうえで「市民に身近な事務は市において行うべき」という観点から積極的に取り組みを進めております。

また、今年度は、県知事公室総務課分権改革推進室と共催で「権限移譲研修会」(5 回予定) を開催しましたが、9 月の豪雨災害のため 3 回目以降の開催は見送られたものの、平成 20 年 4 月 1 日には 89 の対象事務のうち 73 事務の移譲数となり、移譲率 73.08% (平成 19 年 4 月 1 日現在の移譲率 39.77%) に達し、移譲率順位では県内の市において 1 位 (町村含む 2 位) となります。

平成 19 年度の職員採用試験は、11 月 29 日に一般職 3 名、12 月 6 日に消防吏員 5 名を第 2 試験合格者として告示しました。消防吏員合格者のうち 1 名が辞退したため、一般職 3 名と消防吏員 4 名を 20 年度の採用予定候補者名簿に登載しております。

企 画 部

総合政策課関係

北秋田市移動行政懇話会が、12月13日の合川地区を皮切りに、17日森吉地区、20日阿仁地区、25日鷹巣地区で、それぞれ市長、副市長、教育長、関係部長等の出席のもと、市民約200名が参加し開催されました。

市側から、合併後の事業の進捗状況と財政状況、新しい高齢者の医療制度、住宅用火災警報器の設置などについて説明後、質疑や地域が抱える多くの問題等について意見交換が行われました。

機構改革については12月21日、第12回機構改革検討委員会が開催され、大規模な機構改革が1年先延ばしとなったことから、今年4月の機構について協議し、喫緊の課題に向け、「危機管理対策室」と「行財政改革室」の新設を検討しました。

12月13日、秋田内陸線存続を考える会と北秋田市長との意見交換会が、会員約50人が参加し阿仁山村開発センターで開催されました。存続に向けた乗車運動の取り組みとして、阿仁地区では全世帯が乗車回数券を購入し目標を上回る3,100枚の購入実績があったことが報告され、運動の継続について話し合われました。また、鷹巣町商工会青年部は、「のって のこそう ないりくせん」のメッセージを米代児童公園に設置しているSL機関車にイルミネーションで飾り付けし、道行く市民に呼びかけをしました。

また、存続を願う市民団体主催の「新春秋田内陸線談議」が1月13日の仙北市に続き、1月26日北秋田市で開催され、それぞれ200人、160人を上回る参加者があり、活発な意見交換が行われました。さらに、秋田内陸線エリアネットワークが1月26日設立され、内陸線を活用したコミュニティを構築して沿線地域の再生活動に取り組むことになりました。

財政課関係

平成19年11月19日以降の主な工事等の発注状況(500万円以上)は、次のとおりです。

工事等発注一覧表

500 万円以上(消費税含む)

平成19年11月19日~平成20年2月13日

工事名(業務名)	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
クリーンリサイクルセンター 1号炉耐火物補修工事	H19.11.20	23,940	三菱マテリアルテクノ (株)秋田支店
市民生活部 1件		23,940	
村づくり交付金<農業集落排水単独事業> 道城地区第04203号工事	H19.11.30	11,497	(有)宗和
面整備工事(鷹巣処理区 その8)	H19.12.18	19,425	(株)大川建設
面整備工事(鷹巣処理区その9)	H19.12.18	20,475	(有)長岐建設
面整備工事(鷹巣処理区 その10)	H19.12.21	23,415	(株)芳賀工務店
マンホールポンプ設置工事(阿仁合処理区)	H19.12.27	28,717	大館桂工業 (株)北秋田営業所
面整備工事(鷹巣処理区 その12)	H19.12.27	14,175	(有)三浦組
面整備工事(鷹巣処理区 その11)	H19.12.27	33,600	朝日建設(株)
マンホールポンプ設置工事(鷹巣処理区MP6)	H19.12.27	8,400	三光テクノ (株)大館営業所
面整備工事(米内沢処理区その3)	H19.12.28	14,175	(有)米広組
木戸石地区災害関連農村生活環境施設復旧事業	H20.1.10	8,925	三光テクノ (株)大館営業所
道路災害復旧工事(市道 羽根山沢線)	H20.1.10	6,069	(有)喜組
道路災害復旧工事(市道 李岱川井線)	H20.1.11	8,137	(有)宗和
道路災害復旧工事(市道 吉田小様線)	H20.1.11	5,323	(株)松岡組
浦田地区 災害関連農村生活環境施設復旧事業	H20.1.11	9,450	秋田土建(株)
前田地区 災害関連農村生活環境施設復旧事業	H20.1.11	25,095	秋田土建(株)
西地区 災害関連農村生活環境施設復旧事業	H20.1.15	10,080	扶桑建設工業 (株)仙台支店
村づくり交付金<農業集落排水単独事業> 道城地区第04204号工事	H20.2.13	15,435	(有)宗和
建設部 17件		262,393	
全国植樹祭参加者記念品	H19.12.14	5,184	ヤマハミュージック トレーディング(株)

農業災害復旧事業（鷹巣地区） 北秋田市黒沢字坊沢道 地内外	H20.2.8	10,605	（有）畠山重機工業
農業災害復旧事業（鷹巣地区） 北秋田市栄石の巻 地内外	H20.2.8	10,657	大館桂工業 （株）北秋田営業所
農業災害復旧事業（鷹巣地区） 北秋田市小森字上ノ沢 地内外	H20.2.12	9,133	（有）三浦組
農業災害復旧事業（鷹巣地区） 北秋田市七日市字野尻 地内外	H20.2.13	13,986	（有）千葉建設
農業災害復旧事業（鷹巣地区） 北秋田市七日市字菅谷地岱 地内外	H20.2.13	12,547	（有）長岐建設
産業部 6件		62,112	
クウンス森吉冷温水発生機取替工事	H19.11.30	13,125	（株）巽工業所 北秋田営業所
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市浦田字高淵 地内外	H20.2.8	14,332	大館桂工業 （株）北秋田営業所
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市根森田字堂ノ沢 地内外	H20.2.12	9,345	池田建設（株）
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市阿仁前田字惣内滝ノ下 地内外	H20.2.13	6,195	（有）床栄組
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市五味堀字野崎 地内外	H20.2.13	6,604	神成土建（株）
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市小又字平里 地内外	H20.2.13	37,222	奥山建設（株）
農業災害復旧事業（森吉地区） 北秋田市米内沢字黒沢 地内外	H20.2.13	17,640	（名）細田組
森吉支所 7件		104,463	
平成19年度村づくり交付金（合川地区） 第01203号工事	H19.12.27	12,495	（有）喜組
農業災害復旧事業（合川地区） 北秋田市木戸石字下務田 地内外	H20.2.8	17,850	三光テクノ （株）大館営業所
農業災害復旧事業（羽根山・李岱地区） 北秋田市李岱字下中島 地内外	H20.2.12	6,195	（有）喜組
農業災害復旧事業（根田地区） 北秋田市根田字有田 地内外	H20.2.12	9,324	（有）喜組
農業災害復旧事業（三里・三木田地区） 北秋田市三里字中 地内外	H20.2.12	7,539	（有）喜組
農業災害復旧事業（八幡岱・川井地区） 北秋田市川井字東田面 地内外	H20.2.13	15,601	（株）伊勢組
農業災害復旧事業（上杉地区） 北秋田市上杉字下李木岱 地内外	H20.2.13	9,055	（株）伊勢組
平成19年度村づくり交付金（合川地区） 第01204号工事	H20.2.13	11,502	（株）伊勢組
合川支所 8件		89,561	

農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁萱草・伏影・笑内 地内	H20.2.12	9,859	（株）上杉組
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁根子 下地内	H20.2.12	6,552	（株）上杉組
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁小様 地内	H20.2.12	8,851	山一林業（株）
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁荒瀬 地内	H20.2.13	11,634	（有）岸野建設
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁根子 上地内	H20.2.13	10,164	（有）岸野建設
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁戸島内 上地内	H20.2.13	11,508	（有）岸野建設
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁幸屋・比立内・長畑 地内	H20.2.13	11,707	（有）阿仁土建
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁戸島内 下地内	H20.2.13	9,607	（有）鈴謙
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁中村・打当 地内	H20.2.13	12,264	（有）鈴謙
農業災害復旧事業（阿仁地区） 北秋田市阿仁吉田 地内	H20.2.13	10,552	古河林業緑化（株）
阿仁支所 10 件		102,698	
合 計 49 件		645,167	

市民生活部

市民課関係

平成20年1月末日現在の住民登録者数は、39,147人でその内訳は、男18,482人、女20,665人、世帯数は14,743世帯となっております。

保険課関係

平成18年度の市国民健康保険医療費の状況は次のとおりです。

一人当たり医療費対前年比較 (単位：円、%)

一 般			退 職			老 人		
17年度	18年度	前年比	17年度	18年度	前年比	17年度	18年度	前年比
257,430	254,562	98.89	376,858	372,563	98.86	697,531	705,851	101.19
一 般			退 職			老 人		
費用額	平均被保数	一人当	費用額	平均被保数	一人当	費用額	平均被保数	一人当
1,790,592	7,034	254,562	1,319,989	3,543	372,563	3,825,004	5,419	705,851

市国民健康保険保健事業(疾病予防事業)として市内各医療機関の協力により平成18年度から継続実施しているインフルエンザ予防接種助成事業の実施状況は次のとおりです。

(単位：件、円)

年 度	件 数	金 額
19	1,289	1,928,500
18	1,016	1,522,820

対象者：0歳～64歳までの国保加入者(擬制世帯主を除く)

医療推進課関係

昨年12月5日付けで県に提出しておりました市民病院の開設許可申請に対し、1月23日付けで県から許可の通知がありました。

1月21日には市民病院建設のための建築、電気、機械それぞれの現場事務所が完成し、平成21年10月の開院に向け本体建設工事に着手しました。

指定管理者として予定している厚生連との条件整備のための指定管理者選定委員会を立ち上げ、第1回目の会議を1月28日に開催しました。当日は委嘱状を交付し選定委員会の役割や今後のスケジュール等について話し合いました。

国民健康保険合川診療所関係

1月末までの延患者数(外来)は12,077人(35人=0.2%減)で、これに伴う収入は127,090千円(9,126千円=7.2%増)となっており、運営状況としては、患者数がやや減少しているものの収入額は増加しております。

今後も、往診、訪問介護などの事業展開や、老人施設等との連携を図りながら地域住民の健康を守るとともに安定経営に向けた取り組みに努めてまいります。

阿仁病院関係

平成19年度の決算見込みは、事業収入が5月からの病棟休床に伴い約500,000千円(前年度比較約180,000千円減)となる見通しです。事業支出は、人件費・材料費・その他経費が約170,000千円の減となる見通しで、単年度収支としては、5,000千円ほどの利益計上となる見込みです。

保健センター関係

12月14日、医療団体との業務協議会が市交流センターで開催され、行政と各医療・保健関係機関との情報交換が行われました。

各種成人検診事業は、集団、医療機関、ドックの3方式を合わせた12月末現在の受診者数は、基本健康診査5,325人(うち介護予防健診3,923人)、胸部総合検診4,445人、喀痰検査115人、胃がん検診2,509人、大腸がん検診3,945人、前立腺がん検診1,317人、子宮頸部がん・卵巣腫瘍検診738人、乳がん検診623人、骨粗しょう症検診496人、肝炎ウイルス検診226人、歯周疾患検診3人となっております。

肺炎球菌予防接種は、12月末現在で178人、インフルエンザ定期予防接種は、12月現在で6,393人が接種を受けており、それぞれ接種費用の一部を公費助成しました。

大館市での麻しんの集団発生を受けて実施している緊急予防接種は、1月末現在で105人が接種を受けており、接種費用の一部を公費助成しました。

生活習慣病予防健康講座は、これまで4回開催し、延べ369人が参加しております。

介護予防事業は、介護予防ボランティア育成講座に延べ196人が参加しており、運動等の事業には延べ661人が参加しております。

心の健康づくり・自殺予防事業は、心の健康づくり講座を4地区で開催し、延べ463人の参加がありました。また心の健康づくり相談員は、現在199人が認定を受けており、今年度は3回のフォローアップ研修を行い、新たに22人が認定される予定となっております。

母子保健事業は、2月7日に乳幼児育成連絡会議を開催し、乳幼児の育成に関する関係機関が支援体制について情報交換をしながら連携の強化を図りました。

生活環境課関係

12月21日、廃棄物の減量化や再資源化に向けた廃棄物減量等推進審議会を開催し、14名に審議員の委嘱状を交付後、一般廃棄物処理基本計画素案について審議を行いました。

それに伴い、一般廃棄物処理基本計画案に対するパブリックコメントの募集について、市広報（2月1日号）でお知らせしています。今後は、廃棄物減量等推進審議会場で再び審議後、3月に一般廃棄物処理基本計画の策定・答申を経て、市民への周知を図っていくこととなります。

阿仁斎場は、昭和54年の供用開始以来28年が経過し老朽化が著しく、現在まで修繕を重ねて使用してまいりましたが、それも限界にきているため、19年度末をもって廃止せざるを得ない状況にあります。本年4月から「北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合」で運営している「清幸苑」を利用することになりますが、阿仁地区の住民の利用に支障がないよう対処してまいります。

ダイオキシン類対策特別措置法の規制による、クリーンリサイクルセンターのダイオキシン類等排出量の分析結果については、1号炉の排出量は、0.097ナノグラム、2号炉は、0.071ナノグラムという結果がでており、1、2号炉ともに基準値の10ナノグラムを下回っております。

「北秋田市地域防災計画」は、3月中旬までに策定の予定で県との協議を進めております。策定後には各部署、関係機関へ配布し周知を図るとともに、避難マニュアル、ハザードマップ等の作成を順次行い、防災力の向上に努めてまいります。

平成19年における飲酒運転追放等競争の結果、当市は飲酒運転事故発生率で全県第5位となり、2月13日、県表彰されております。今後も関係機関と協力し、交通安全対策に努めてまいります。

福祉事務所

福祉課関係

2月1日現在の生活保護世帯数は、331世帯、444人となっております。

平成19年度の家庭用灯油の高騰に伴い、低所得者世帯の軽減を図ることを目的として、平成20年1月15日から3月31日までの間、「北秋田市灯油購入費助成事業」を実施しております。

対象は、平成20年1月1日現在、住民基本台帳に登録され、現に北秋田市に居住し、現年度の市民税が非課税の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯及び生活保護受給世帯で、助成額は、1世帯あたり5,000円、事業費は、3,500世帯分17,500千円を見込んでおります。事業費の財源は、国4分の1、県2分の1、市が4分の1となっております。

1月下旬から、民生児童委員の協力を得ながら職員が対象世帯を訪問し、現金を直接交付しており、生活保護世帯には口座振込みで対応しております。

昨年4月に開設した障害者生活支援センター（ささえ）の1月末現在の延べ利用者は、来所2,242人、訪問458人、電話相談754件で、障害者支援の拠点施設として多くの方々に利

用されております。今後も関係機関や地域との連携により、実施事業の充実、拡大を図ってまいります。

障害者自立支援法による自立支援給付事業は、1月末現在、介護給付253人、訓練等給付52人、自立支援医療438人が認定を受け、それぞれサービスを利用しております。

平成20年度の保育園の入園申込みは、昨年12月3日から21日までに入園受付を行い、市内11の認可保育所への継続申込みが679人、新規申込みが163人で計842人(定員966人)の申し込みとなっており、広域入所は1人を予定しております。1月に新規申込者と就職活動中の保護者及び保育料の滞納世帯等を対象に面接調査を行い、2月には最終審査及び入所決定(認定子ども園については、自園で決定)を行っております。

へき地保育所である浦田保育園は、定員45人に対し新規1人、継続10人の計11人の申込みとなっております。

平成20年度の放課後児童クラブの入会申込みは、昨年12月14日から本年2月15日までに申込みを受け、3月中旬に入所決定を行う予定であります。

県内初の幼保連携型施設として建設を進められていた「認定子ども園・しゃろーむ」が、2月21日に県の完成検査後、2月25日から新園舎で保育を行っております。県の「幼保一体化促進事業」の研究モデル園として本年度指定を受け、その実践研究に取り組んでおります。

<高齢者支援課関係>

高齢者福祉事業として実施している「福祉の雪事業」は、登録件数が2月4日現在で1,062世帯となっており、内訳は一人暮らし世帯644、高齢者世帯371、その他の世帯47となっております。

なお、今後の降雪量状態によっては利用世帯の増加も予想されます。

介護保険事業は、1月末現在の要介護・要支援認定者数が2,613人となっており、そのうちサービス受給者が2,068人で、認定者数に対する受給率は79.14%となっております。これは昨年度の同期と比較して認定者数で87人、サービス受給者数で139人増加しており、認定者数に対する受給率も2.77%増加しております。

地域包括支援センター関係

地域支援事業の一環として行われている介護予防事業は、要支援、要介護となるおそれのある高齢者(特定高齢者)を対象とした介護予防プランの作成等があります。1月末で79人が運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のサービスを利用しており、それぞれ機能改善等も報告されております。事業参加者は昨年同期と比較すると66人の増加となっております。

総合的な相談・支援・権利擁護等の包括的支援事業は、1月末で電話・来所・訪問等による相談件数が、延べ1,664件あり、うち虐待を含む権利擁護等は、延べ261件含まれております。それ

ぞれ解決に向けて対応しておりますが今後はさらに増える傾向にあります。

要支援1・要支援2の認定者を対象とした新予防給付における1月末のサービス利用者数は332人で、昨年の同期と比較すると2人の減となっております。

産 業 部

商工観光課関係

11月30日、「北秋田大野台工業団地インターネット基盤整備」について、東日本電信電話株式会社秋田支店と協定を締結しました。

1月24日、名古屋市において開催された「あきたリッチセミナー in NAGOYA」に出席し、北秋田市をPRするとともに参加企業と情報交換を行いました。

冬の観光、レジャースポットである森吉山阿仁スキー場は、12月のオープンから1月末までの間25,600人が訪れています。

特に人気の「樹氷観賞」は、12月13日から3月30日まで開催されますが、観光客が昨年より多く出足は好調です。期間中は樹氷教室やカンジキ体験、トレッキングなどが行われます。

2月9日・10日の2日間、「道の駅鷹巣・大太鼓の館」において「第14回鷹巣もちっこ市」が開催され、市内外から訪れた多くの観光客で会場は大賑わいでした。

<農林課関係>

県から通知された平成20年産米の需要量に関する情報は、本市の数量は19,232トンで、前年と比較し813トン（4.06%）の減となっております。これに基づき、北秋田市米政策推進協議会（1月15日開催）の協議を経て、鷹巣地域水田農業推進協議会（10,491トン）、阿仁部地域水田農業振興協議会（8,741トン）に情報提供をし、今後は、各協議会が生産調整方針を作成し、農家に生産目標数量を配分することになっております。

木材公共施設整備事業については、年度途中で法律の一部改正で交付決定時期が遅れたことにより、設計業務委託（地質調査含む）を除き20年度に繰り越し建築工事を施工することにしております。

災害復旧事業については、平成19年9月16日から18日発生の、秋雨前線豪雨災害による農業施設災害復旧工事（補助分）28工区（150箇所）を発注しており、残り13工区（28箇所）は、2月下旬の発注を予定しております。

建設部

<都市計画課関係>

都市計画街路事業・太田川口線（元町工区）の整備については、引き続き事業用地の取得、物件補償契約に向けた交渉を進めており、2月20日現在の進捗率は、件数比52%、金額比78%となっております。

国土交通省・能代河川国道事務所において施工中の、鷹巣大館道路（日沿道）に係る栄地内の工事用道路（市道摩当李岱線、上大沢線改良工事）は、年度内に完成する予定です。

新耐震基準によらない建設年次の古い市営住宅6棟（26戸）の耐震診断業務を、12月下旬に委託しております。また、市火災予防条例の改正に伴う住宅火災警報器の設置工事については、145戸（14団地）が1月下旬に完成しました。

<建設課関係>

地方道路整備臨時交付金事業の平里橋上部工は12月末に完了、道路工は年度内に完了予定であります。また、道路整備交付金事業大野台幹線の改良工事は2月末に完了予定であります。

単独事業の七日市松沢線（妹尾館地区）道路改良工事は12月末に完了、また、小様三枚線については、2月末に完了予定であります。

平成19年9月災害の道路、河川及び橋りょうの80箇所の査定決定額は464,880千円で、採択率は87.9%となっております。

復旧工事については、道路14箇所、河川10箇所、橋りょう1箇所の計25箇所を発注済みであります。さらに、3月中に繰越発注する予定であります。

<下水道課関係>

公共下水道事業における工事の発注状況は、鷹巣処理区においては、高野尻地内、前綱地内及び太田新田地内の面整備工事5件、太田屋敷後地内のマンホールポンプ設置工事1件を、阿仁合処理区においては、阿仁吉田地内及び阿仁水無地内のマンホールポンプ設置工事1件を、米内沢処理区においては、根小屋地内の面整備工事1件を、合川処理区においては、川井地内の面整備工事1件をそれぞれ発注しております。

農業集落排水事業における工事の発注状況は、道城地区において管路布設工事1件を発注しております。

先の水害により被災した農業集落排水施設における工事の発注状況は、災害関連農村生活環境施設復旧事業として、木戸石地区、西地区、浦田地区、前田地区の4件を、また、単独災害復旧工事として、三里地区他7地区（増沢、鎌沢、羽根山、上杉、西、浦田、前田）の計8件をそれぞれ発注しております。

水道課

上水道事業は、鷹巣浄水場耐震診断及び改修設計業務委託が3月下旬の完了予定であります。

簡易水道は、鷹巣大堤地区の配水管布設工事（75mm L=251m）と補償工事である、大野台地区配水管移設工事（150mm L=535m）、平里地区配水管移設工事（150mm L=131m）の計3件を完成しております。

また、合川・森吉地区統合簡易水道事業は、高区配水管布設工事（250mm L=1,270m）を完成しております。

災害復旧事業は、県道桂瀬笹館線の道路災害復旧工事に伴う浦田橋添架管災害復旧工事が、2月中旬の発注で、3月下旬の完成を予定しております。

消防本部

常備消防関係

平成19年中の災害概要は、火災が24件発生し、昨年同期と比較し3件の増となっております。火災種別では建物火災が16件、林野火災、車両火災がそれぞれ1件、その他火災が6件となっております。建物火災では23棟が焼損し、そのうち住宅の全焼が5棟、部分焼5棟、ぼや3棟となっております。

損害額は昨年同期と比べ、36,708千円増の276,435千円で、死者は自損行為による1名、負傷者は4名となっております。

救急出場件数は1,282件で、その内訳は、急病883件、一般負傷145件、転院搬送115件、交通事故83件等となっております。

救助出場は49件で14名を救助しております。

捜索出動状況は、6件発生し1人が生存発見、自力下山が3名、死亡発見が1名となっており、2名の方が残念ながら未だに発見されておられません。

秋田県消防広域化推進計画は、12月27日開催の第2回推進懇談会において、現在の13本部を7本部に再編する県の素案が提示されました。これによると当消防本部は、大館市消防本部、鹿角広域組合消防本部の3本部で新たな消防本部を組織することとなります。

県は年度内に広域化推進計画の成案をまとめる意向であり、対象市町村は20年度以降に広域消防運営計画を作成し、5年後の平成24年度末までに新体制となる消防本部の実現を目指すこととなります。

<非常備消防関係>

1月4日、米内沢地区を会場に、県知事、消防団員、消防関係者およそ700人が参加し、市消防出初め式を行っております。森吉コミュニティセンター前から森吉総合スポーツセンターまでの分列行進に引き続き行われた式典では、永年消防団員として活動された団員、功績のあった団員に表彰状が伝達されました。

教育委員会

<総務課関係>

小学校再編整備計画については、前期に統合を計画している竜森小学校と鷹巣南小学校の保護者や地域の皆さんへの説明会を行い、平成21年4月1日をもって竜森小学校を鷹巣南小学校へ統合することに決定しました。また合川地区4小学校及び浦田小学校についても、保護者や地域の皆さんへの説明会を学区ごとに行い、計画への理解を求めるとともに地域の意見を聴取しました。

冬まどびの里子ども自然村が12月26日から30日までの5日間の日程で、大阪府をはじめ各都府県から31名の児童が参加し開催されました。参加者はスキーや雪遊び、農家での宿泊体験など都会ではできない体験活動を行いました。この中から来年度の長期山村留学「まどび学園」への留学生が誕生するよう努めていきたいと考えております。

<義務教育課関係>

全県中学校スキー大会(鹿角市1月14日~17日)の回転競技で、上杉郷君(阿仁中学校3年)、照内かえでさん(鷹巣中学校3年)が男女で優勝、阿仁中学校2年の加賀巧哉君は純飛躍で2連覇を達成、複合でも準優勝と大活躍しました。距離競技では、男子クラシカルで金田光司君(森吉中学校3年)が3位、女子クラシカルで梅田香寿美さん(合川中学校3年)が準優勝、女子フリーで赤石華さん(森吉中学校3年)が準優勝と活躍し、市内の多数の選手が入賞を果たしました。東北大会(田沢湖、鹿角市1月25日~28日)では、加賀巧哉君が純飛躍、複合とも準優勝、女子クラシカルで梅田香寿美さんが3位になりました。小学校においても、各種大会が行われ、スキーをとおした心身の健康づくりに励んでいます。また、全日本アンサンブルコンテスト県大会において、鷹巣中学校フルート三重奏が金賞を獲得しました。

平成19年度の市立小・中学校及び幼稚園の卒業(園)予定者は、小学校308人、中学校355人、幼稚園13人で、将来への大きな期待を胸に思い出に満ちた学舎を巣立っていきます。

また、平成20年度入学(入園)予定者は小学校250人、中学校298人、幼稚園13人で、4月

から、新しい希望に満ちた学校（園）生活を迎えます。

<高校教育課関係>

学校では、今冬も生徒の安全と雪害の未然防止に努めています。

3学期が1月10日から始まりましたが、冬季休業期間中も介護福祉科3年生は、介護福祉士国家試験対策、普通科・情報ビジネス科の生徒も、進学や資格取得のための補習授業に励みました。

部活動ではフェンシング部・将棋部が全県大会でそれぞれ上位入賞し、東北大会・全国大会に出場します。

2月12日には、1・2年生と教職員が「あいかわ地域福祉センター」と連携を図りながら、合川地区の除雪ボランティアを実施しました。

平成19年度卒業予定者は86名で、大きな期待を胸に3月3日、思い出深い学舎を巣立っていきます。

平成20年度秋田県公立高等学校入学者選抜日程は、前期選抜が1月30日に実施され、面接等により普通科2名、情報ビジネス科2名、介護福祉科7名の計11名が合格しております。

また、一般選抜学力検査等実施日は3月5日、後期選抜面接等実施日は3月19日となっております。

<生涯学習課関係>

18年度世界遺産暫定リスト入りを申請し、継続審査となっていた伊勢堂岱遺跡については、当市と北海道・北東北の12市町の15遺跡で構成する「北海道・北東北縄文遺跡群」の名称で、12月19日、文化庁に新たに申請書を提出しました。北海道・北東北は、縄文文化を今に伝える遺跡の宝庫とされており、審査結果を注目しています。

地区ごとに開講している高齢者大学は、1月29日、文化会館においてはじめての試みとして、全市の受講生を対象とした全体公開講座を開催しました。講座には約400人の受講生が一堂に会し、各大学の活動報告の後、朗読や昔語り、思い出の歌の合唱などを楽しみ交流を深めました。

読書推進事業の一環として実施している読書感想文・感想画コンクールには、昨年を上回る感想文116点・感想画426点の応募がありました。現在、審査中で、2月23日に表彰式を開催します。

<公民館関係>

平成19年度の各種講座は、市民の要望等を取り入れ幅広く、子どもから高齢者まで受講でき122講座を開設しています。講座の大部分は2月中で終了しますが、鷹巣地区では講座で学んだ成果や体験を発表する『閉講のつどい』を3月7日に予定しております。

<スポーツ振興課関係>

1月6日、「第60回大館・北秋田中学校スキー大会」クロスカンントリー競技が、高津森クロスカンントリーコースで開催されました。当日は県スキー連盟公認の第20回森吉山スキー大会と共催で行われ、出場選手149名が、時折小雪が舞う中、シーズン幕明けの大会に熱戦を展開しました。

2月3日、「第1回北秋田市民スキー大会」が大勢の市民で賑わう薬師山スキー場で開催されました。昨年のこの大会は雪不足のため中止となりましたが、快晴となった当日は、小学生から一般まで328人が出場。整備された競技コースで、大回転、距離、リレー、スノーボードなどの種目に挑戦し日頃の練習の成果を発揮しました。また会場の一角では豚汁のサービスが行われ、訪れた観客や選手などに振る舞われました。

<国体推進室関係>

秋田わか杉国体が無事終了し、平成20年度以降の国体開催県への説明会を実施しました。バレーボール競技は、12月26日・27日大館市樹海体育館で、山岳競技とアーチェリー競技は平成20年1月25日北秋田市中央公民館で実施しております。

国体関係事務の総括として、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」北秋田市報告書と、民泊記念誌として「泣き笑い民泊のおもいで集」を作成し、関係者へ配付しています。

秋田わか杉国体北秋田市実行委員会は、平成19年度第2回総会を2月25日森吉コミュニティセンターで開催し、事業報告と収支決算を承認後、2月29日をもって解散する予定です。